

令和5年度 ネットワークコア運営協議会構成員名簿

令和5年10月1日時点

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	FD	◎	
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	FD	○	
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	FD	○	
	総務部 人事課長	大川 直昭	SD		○
	総務部人事課 副課長	溝杭 和美	SD		○
	学務部教育支援課 課長, (兼)教育企画室長	岩森 清澄	事務		
	学務部教育支援課 副課長	齋藤 京子	事務		
	学務部教育支援課 教育企画係長	瀬尾 亜希子	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	松本 洋明	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 教授	佐藤 慶太	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	蝶 慎一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	西本 佳代	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	小坂 有資	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	藤澤 修平	FD	○	
	教育・学生支援部修学支援課 係長	島 明日香	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 主任	小橋 美幸	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 課員	木村 珠雪	FD		
	企画総務部給与福利課長	和泉 佐知代	SD		○
	企画総務部給与福利課 課長補佐	松井 博司	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	奥野 鈴花	SD		○
	教育・学生支援部教育企画課 主任	衣畑 俊希	事務		
	教育・学生支援部教育企画課 課員	山田 夏未	事務		
高知大学	学び創造センター 特任教授	塩崎 俊彦	FD	○	
	学び創造センター 准教授	立川 明	FD	○	
	学び創造センター 准教授	杉田 郁代	FD	○	
	学び創造センター 准教授	高畑 貴志	FD	○	
	学び創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	FD	○	
	総務部 人事課長	田中 佐智	SD		○
	総務部人事課労務管理係 係長	市川 美波	SD		○
	総務部人事課労務管理係 係員	三枝 佳那	SD		
	学務部学務課 課長補佐	吉岡 瞳	事務		
	学務部学務課総務係 係員	桂 真由	事務		
	学務部学務課総務係 事務補佐員	廣末 和香子	事務		
愛媛大学	教育・学生支援機構教育企画室 教授	中井 俊樹	議長・FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室副室長 准教授	仲道 雅輝	FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	村田 晋也	FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室 講師	上月 翔太	FD	○	
	教育・学生支援機構教育企画室 特定研究員	坂本 規孝	SD		○
	総務部 次長	久保 秀二	SD		◎
	総務部人事課 副課長	五貫 敦史	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム	曾我部 映理	SD		
	教育学生支援部長	桐野 律子	事務		
	教育学生支援部 教育企画課長	高木 佳代子	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課 副課長	石川 尚	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	進藤 千晶	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	門田 昂大	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	二宮 和真	事務		

※◎は部会長

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)
 (組織)第2 協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

SPODフォーラム2023の総括について

1. 参加者数等について（参考数値の2022、2021はオンライン開催、2019は対面開催）

- 実数 450人
[参考] 2022：581人、2021：572人、2019：535人
- 延べ人数 1,340人
[参考] 2022：1,492人、2021：1,753人、2019：1,734人
- 1人あたり受講コマ数：SPOD内 2.03、SPOD外 5.07
[参考] 2022：SPOD内2.07、SPOD外3.78
- 研修料徴収対象者が128名のため、研修料収入は128万円（当初の見込み150名／150万円を下回った）
[参考] 2022：158名／158万円、2021：193名／193万円、2019：193名／193万円
- プログラム別アンケートの満足度平均 3.52
[参考] 2022：3.62、2021：3.66、2019：3.59
- 今回が初めての参加者：38.0%
[参考] 2022：40.1%、2021：54.7%、2019：46.9%
- フォーラム4週間後に全体アンケートをWEBで実施
回答率：48.0% [参考] 2022：41.3%、2021：50.0%、2019：38.5%
満足度：99.5% [参考] 2022：98.7%、2021：98.9%、2019：99.0%

2. 今年度開催の良かった点について（抜粋）

■運営

- 今の教育のホットなところを取り入れられるところと、運営自体がアットホームな感じで、参加していて楽しいです。

■対面開催

- オンラインでの参加より対面で参加した方が、より学びに繋がりました。業務上学内で一人で抱えることが多い分、今回の研修で他の大学でも同じような悩みや問題を抱えていると実感できました。
- 久々の対面開催であり、他大学関係者と直接話をすることができた。

■交流

- 熱意ある他大学の職員と交流することでモチベーションがあがる。
- 様々な学校、年代の方とグループワークができて、意見交換ができてよかった。

■受講成果

- 直接業務に落とし込めるスキルを身に付けることができた。
- 自分が担当している業務以外のことや法律について知ることができた。

■プログラムの編成

- 3日間のプログラムの領域が広く、ここまで多様なプログラムを揃えている研修は他に例をみない。所属部署のプログラムのみならず、未経験の業務プログラムも参加することで、学びが大きい。また、課内スタッフのSD研修の位置づけで利用させていただいている。

3. 参加者からの要望等について（抜粋）

■運営

- 事前課題の連絡をもう少し早くしてほしい。直前にいくつもの事前課題があると負担が大きい。
- PCでの研修は、補助をもっとつけるべきだ。わからないところがあっても誰にも聞けずおいていかれる。
- eduroamに登録していない大学関係者にもWi-Fiを利用させていただけると助かります。

■開催方法

- これだけの規模の運営は全国的にも数少ないので、対面による実施を継続的にお願いできれば幸いである。
- 会場での受講以外にWEBやアーカイブ配信等することで、参加者が増加し、受講料の増収が見込まれ、大学財政に貢献できると考えます。

- 講義系セッションについては、アーカイブ配信やオンラインのみ参加できるようにしてもよいと思う。
- 対面の重要性は感じたものの、有益なプログラムが多いので、ハイブリッド、オンデマンドでの実施もあると学内の多くの教職員も参加できるのに、と思いました（本学は四国地区ではないため）。

■交流

- アルコールOKの懇親会を開催して欲しい。
- 短期大学や小規模な私立大学の職員と同じ班になることが多く、様々なご意見を聞くことができたのは良かったが、もう少し同じ規模・立場の大学（中四国の国立大学）の職員との交流もあれば良かったと思う。

■プログラム編成

- 毎年参加していく中で、過去に参加したことがある講座が増え、年々選択肢が少なくなるため、新しい講座を半数くらい開講いただけるとより参加者が増えると思います。
- F DとS Dを分かりやすく分けた方が、教員・事務職員それぞれの立場で参加しやすいと感じました。
- フォーラム自体は対面開催であることで人脈の広がりもできるので良いと思いますが、せっかくの先生方のご講義やワークを振り返りできるような、まさに電子テキスト型コンテンツを提供するなど、オンラインの良さを生かしたプログラムも提供されると、当日参加できない方も別の形で参加できるのではないのでしょうか。

■その他

- 何か仕事を一緒に行うと、それを通じて新しい人間関係が構築されたりするかと思います。そこで、このS P O Dのボランティアなどをさせていただけないか。

4. 開催して欲しい研修プログラムについて（キーワードなどを抜粋）

- A I（生成A I、業務効率化）
- 教育や業務のD X化
- メンタルヘルス関係（学生対応、教職員対応）
- 教職協働関係（相互理解、チームビルディング）
- 教務、教職関係
- 業務スキル（課題解決、語学、P C）
- 危機管理関係
- 大学のグローバル化
- 研究支援関係
- 広報（広報戦略、H P分析、S N Sの活用）
- 財務関係
- 大学経営（補助金獲得、ブランディング、著名なゲスト）
- 大学設置基準関係
- 大学評価関係
- 初任者向けの研修
- レベル別の研修 など

SPODフォーラム2023 参加者数

【参加者数】

区分	教員	職員	その他	計
SPOD加盟校	83	226	1	310
SPOD加盟校外	34	106	0	140
合計	117	332	1	450

【開催日別参加者延べ人数】

日程・区分	教員	職員	その他	計
8月23日(水)	139	395	2	536
8月24日(木)	150	373	0	523
8月25日(金)	86	195	0	281
合計	375	963	2	1340

【参考】SPODフォーラムの参加者数経年変化

開催年	開催大学	開催日程	日数	参加人数（実数）					内訳												延べ人数
									S P O D加盟校						加盟校外						
				合計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	小計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	うち 開催大学	うち開催県 加盟校 （開催大学 以外）	小計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	
2023	愛媛大学	R5.8.23～R5.8.25	3	450	117	332	0	1	310	83	226	0	1	79	115	140	34	106	0	0	1340
2022	愛媛大学 オンライン	R4.8.24～R4.8.26	3	581	207	371	0	3	411	163	245	0	3	57	111	170	44	126	0	0	1492
2021	高知大学 オンライン	R3.8.25～R3.8.27	3	572	276	295	1	0	372	209	162	1	0	40	99	200	67	133	0	0	1753
2019	愛媛大学	R1.8.28～R1.8.30	3	535	215	320	0	0	314	126	188	0	0	69	117	221	89	132	0	0	1734
2018	香川大学	H30.8.29～H30.8.31	3	463	196	265	2	0	275	115	160	0	0	73	18	188	81	105	2	0	1590
2017	徳島大学	H29.8.23～H29.8.25	3	405	169	230	4	2	225	91	131	3	0	69	49	180	78	99	1	2	1428
2016	愛媛大学	H28.8.24～H28.8.26	3	503	191	305	3	4	305	108	194	3	0	87	88	198	83	111	0	4	1469
2015	愛媛大学	H27.8.26～H27.8.28	3	488	197	285	0	6	286	112	172	0	2	74	69	202	85	113	0	4	1507
2014	高知大学	H26.8.27～H26.8.29	3	437	191	239	0	7	259	112	146	0	1	106	57	178	79	93	0	6	1295
2013	愛媛大学	H25.8.20～H25.8.23	4	560	209	312	35	4	369	130	204	35	0	112	128	191	79	108	0	4	1538
2012	徳島大学	H24.8.22～H24.8.24	3	496	168	271	53	4	373	129	191	53	0	103	46	123	39	80	0	4	1432

SPODフォーラム2023の参加状況について（プログラム別）

日時	番号	プログラム名	講師	定員	受講者数	内訳			充足率	備考
						教員	職員	その他		
8月23日（水） 1時限	2301A	所属大学での学習支援者の能力開発を考えよう	清水 栄子	150	46	20	26	0	31 %	
	2301B	最新教職法令に基づく多様な履修相談対応事例	小野 勝士	120	24	1	23	0	20 %	
	2301C	プロジェクトを成功に導くマネジメント手法	丸山 智子	30	21	3	18	0	70 %	
	2301D	ルーブリック評価入門	俣野 秀典	40	12	8	4	0	30 %	
	2301E	地方創生における合意形成	正本 英紀	40	10	6	4	0	25 %	
	2301F	新学部 の 構想を通して学ぶアイデアの伝え方	坂本 規孝	30	12	1	11	0	40 %	
8月23日（水） 2時限	2302A	これだけは押さえてたいオンライン授業の基礎	藤澤 修平	150	29	21	8	0	19 %	※オンラインに変更
	2302B	パフォーマンス評価の設計	飯尾 健	100	22	9	13	0	22 %	
	2302C	事務系職員のための文書作成能力向上研修	坂本 智香	40	36	1	35	0	90 %	
	2302D	設置基準/設置手続入門－組織改革と活性化	宮内 卓也	32	30	1	28	1	94 %	
	2302E	ハラスメント予防のためのアサーション	井ノ崎 敦子	40	37	8	29	0	93 %	
	2302F	カリキュラムの授業科目数適正化のために	上月 翔太	35	32	10	22	0	91 %	
8月23日（水） 3時限	2303A	大学改革を理解するための大学設置基準解説	大津 正知	150	99	16	82	1	66 %	
	2303B	研究戦略推進を支えるURA	矢吹 命大	120	22	12	10	0	18 %	
	2303C	大学職員の業務における見直しと改善	藤本 正己 笹山 明伸	40	36	0	36	0	90 %	
	2303D	準正課教育プログラムの立ち上げ	山内 一祥 村田 晋也	40	7	2	5	0	18 %	
	2303E	「大学生のキャリアデザイン」研修の内製化	阿部 光伸	40	34	15	19	0	85 %	
	2303F	研修を組織の原動力とするための理論と実践	竹中 喜一	30	27	5	22	0	90 %	
8月24日（木） 1時限	2401A	トッブリーダーセミナー 現場が動きだす大学教育マネジメント	嵩田 敏行	150	64	22	42	0	43 %	
	2401B	Power Queryで効率的なデータ処理	高畑 貴志	32	29	3	26	0	91 %	
	2401C	新時代に必要英語のスキルを整理しよう！	中山 晃	30	12	4	8	0	40 %	
	2401D	障害のある学生への合理的配慮と修学支援	佐々木 銀河	40	37	10	27	0	93 %	
	2401E	デジタル学修歴証明書を知ろう	鈴木 洋	40	28	7	21	0	70 %	
	2401F	ケースを通して考える中間管理職入門	小方 直幸 野口 里美 石原 卓也	20	16	1	15	0	80 %	
8月24日（木） 2時限	2402A	トッブリーダーセミナー 大学教育改革の力学	田中 岳	150	77	26	51	0	51 %	
	2402B	みんなでDX～業務システムを開発しよう～	武田 啓之 小寺 賢志 渡部 昌尚	30	29	0	29	0	97 %	
	2402C	SD担当になるとき知っておくべき7つの基本	阿部 光伸	30	24	1	23	0	80 %	
	2402D	テキストマイニング入門	塩川 奈々美	30	29	17	12	0	97 %	
	2402E	教学マネジメント入門	山咲 博昭 荒木 俊博	40	22	4	18	0	55 %	
	2402F	大学教育学習センターの開発	吉田 博 竹中 喜一 西野 毅朗 杉森 公一	20	14	4	10	0	70 %	
8月24日（木） 3時限	2403G	シンポジウム 「未来を切り拓く人材の育成」	西條 辰義 上月 翔太 岡本 剛	200	142	51	91	0	71 %	
8月25日（金） 1時限	2501A	教務が理解しておきたい法令と最新政策動向	宮林 常崇	100	57	1	56	0	57 %	
	2501B	大学のライティング教育から考える職能開発	蝶 慎一	120	33	19	14	0	28 %	
	2501C	学生の自律性を引き出す授業設計	仲道 雅輝	32	18	14	4	0	56 %	
	2501D	大学等の寄付金募集戦略 -はじめの一歩-	須山 弘一	40	22	4	18	0	55 %	
	2501E	高等教育の倫理（開発）を考える	関沢 和泉	36	10	5	5	0	28 %	
	2501F	学生支援に関わる教職協働を考える不登校編	杉田 郁代 藤巻 晃 藤本 正己	40	18	3	15	0	45 %	
8月25日（金） 2時限	2502A	若手職員向け超入門！研究者と学術情報流通	井上 昌彦	150	23	6	17	0	15 %	
	2502B	電子テキスト型コンテンツの制作と授業運用	林 敏浩	120	24	15	9	0	20 %	
	2502C	ゲームで考える職員間のギャップ	藤巻 晃 藤本 正己 石川 尚	30	27	2	25	0	90 %	
	2502D	ピア・サポート活動のはじめ方、すすめ方	佐々木 菜々	40	23	3	20	0	58 %	
	2502E	大規模授業でアクティブラーニングをしよう	金西 計英	40	13	10	3	0	33 %	
	2502F	FD担当者のためのFD企画講座	吉田 博 塩川 奈々美 上月 翔太 杉田 郁代	20	13	4	9	0	65 %	
合計				2807	1340	375	963	2	48 %	
						1340				

SPODフォーラム2023の参加状況について（学校別：加盟校）

	学校名	教員	職員	その他	計
1	徳島大学	6	4	0	10
2	鳴門教育大学	0	1	0	1
3	香川大学	5	13	0	18
4	愛媛大学	19	57	3	79
5	高知大学	4	10	0	14
6	香川県立保健医療大学	0	0	0	0
7	愛媛県立医療技術大学	2	2	0	4
8	高知県立大学	1	3	0	4
9	高知工科大学	1	3	0	4
10	四国大学・四国大学短期大学部	0	2	0	2
11	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	5	9	0	14
12	高松大学・高松短期大学	0	4	0	4
13	聖カトリナ大学・聖カトリナ大学短期大学部	14	34	0	48
14	松山大学・松山短期大学	0	6	0	6
15	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	3	29	0	32
16	高知学園大学・高知学園短期大学	0	10	0	10
17	高知リハビリテーション専門職大学	0	6	0	6
18	徳島工業短期大学	15	6	0	21
19	香川短期大学	1	2	1	4
20	今治明德短期大学	1	4	0	5
21	せとうち観光専門職短期大学	0	2	0	2
22	岡山理科大学獣医学部	2	0	0	2
23	人間環境大学松山看護学部および総合心理学部	1	14	0	15
24	阿南工業高等専門学校	0	1	0	1
25	香川高等専門学校	0	1	0	1
26	新居浜工業高等専門学校	3	0	0	3
27	弓削商船高等専門学校	0	0	0	0
28	高知工業高等専門学校	0	0	0	0
合計		83	223	4	310

加盟校	83	223	4	310
加盟校外	34	106	0	140
合計	117	329	4	450

SPODフォーラム2023の参加状況について（学校別：加盟校外）

学校名	教員	職員	その他	計
北海道科学大学	0	1	0	1
酪農学園大学	0	1	0	1
青森中央学院大学	0	2	0	2
岩手県立大学	0	1	0	1
東北学院大学	0	1	0	1
秋田県立大学	0	1	0	1
日本赤十字秋田看護大学	0	2	0	2
茨城大学	2	2	0	4
関東学園大学	1	0	0	1
東京電機大学	0	2	0	2
城西大学	0	2	0	2
獨協大学	0	1	0	1
日本大学	4	1	0	5
東京工業大学	0	3	0	3
芝浦工業大学	1	5	0	6
淑徳大学	0	2	0	2
東洋学園大学	0	1	0	1
学習院大学	0	1	0	1
和光大学	0	1	0	1
上智大学	0	1	0	1
早稲田大学	1	3	0	4
青山学院大学	0	1	0	1
工学院大学	0	1	0	1
新潟大学	2	0	0	2
北陸大学	1	0	0	1
岐阜医療科学大学	0	1	0	1
岐阜聖徳学園大学	0	1	0	1
大垣女子短期大学	1	0	0	1
豊橋技術科学大学	0	3	0	3
中京大学	0	1	0	1
名古屋外国語大学	0	1	0	1
金城学院大学	0	1	0	1
鈴鹿医療科学大学	0	1	0	1
滋賀大学	0	2	0	2
龍谷大学	0	2	0	2
京都橘大学	1	1	0	2
京都ノートルダム女子大学	0	1	0	1
京都産業大学	1	0	0	1
京都文教大学	0	2	0	2
同志社大学	0	1	0	1
京都精華大学	0	1	0	1
立命館大学	0	1	0	1
大学コンソーシアム京都	0	2	0	2
大阪公立大学	1	1	0	2
追手門学院大学	1	0	0	1
近畿大学	1	0	0	1

SPODフォーラム2023の参加状況について（学校別：加盟校外）

学校名	教員	職員	その他	計
大阪国際大学	0	2	0	2
大阪観光大学	0	1	0	1
大阪経済大学	0	3	0	3
大阪体育大学	1	2	0	3
大阪電気通信大学	0	1	0	1
帝塚山学院大学	0	1	0	1
森ノ宮医療大学	0	1	0	1
大和大学	1	0	0	1
甲南女子大学	1	1	0	2
神戸学院大学	0	1	0	1
神戸女子大学	0	2	0	2
園田学園女子大学	0	1	0	1
関西学院大学	0	1	0	1
豊岡短期大学	0	1	0	1
岡山大学	1	0	0	1
川崎医科大学	1	0	0	1
川崎医療福祉大学	0	2	0	2
岡山理科大学	1	0	0	1
ノートルダム清心女子大学	0	1	0	1
ノートルダム清心学園	0	2	0	2
広島市立大学	3	3	0	6
県立広島大学	0	3	0	3
広島県公立大学法人	0	1	0	1
叡啓大学	0	2	0	2
広島工業大学	1	3	0	4
広島国際大学	0	4	0	4
広島修道大学	0	2	0	2
広島女学院大学	0	2	0	2
山口大学	1	0	0	1
周南公立大学	0	1	0	1
福岡工業大学	0	2	0	2
福岡歯科大学	2	0	0	2
熊本県立大学	3	0	0	3
日本文理大学	0	1	0	1
合計	34	106	0	140

SPODフォーラム2023事前アンケート集計結果

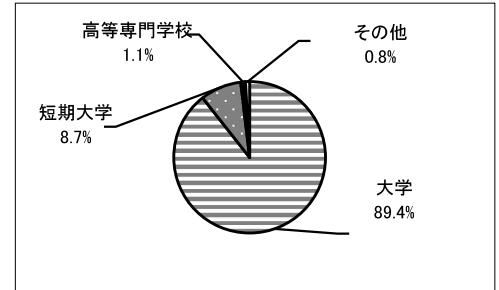
アンケート回答者数:471名

参加者の属性

(1) 所属先

	度数	割合
① 大学	421	89.4%
② 短期大学	41	8.7%
③ 高等専門学校	5	1.1%
④ その他	4	0.8%
計	471	100.0%

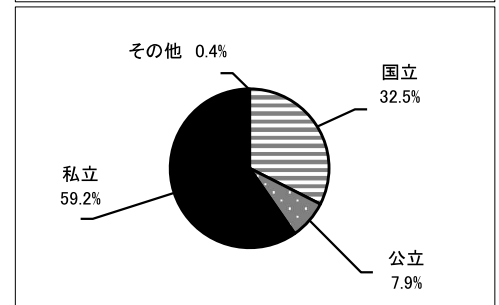
その他：学校法人本部(2)、公益財団法人(2)



(2) 所属先の設置者

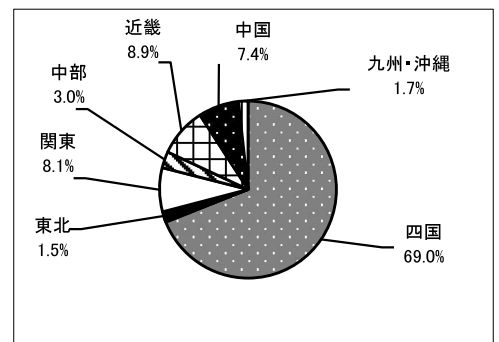
	度数	割合
① 国立	153	32.5%
② 公立	37	7.9%
③ 私立	279	59.2%
④ その他	2	0.4%
計	471	100.0%

その他：公益財団法人(2)



(3) 所属先の所在地

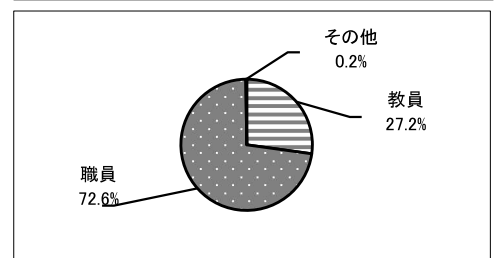
	度数	割合
① 四国	325	69.0%
② 北海道	2	0.4%
③ 東北	7	1.5%
④ 関東	38	8.1%
⑤ 中部	14	3.0%
⑥ 近畿	42	8.9%
⑦ 中国	35	7.4%
⑧ 九州・沖縄	8	1.7%
計	471	100.0%



(4) 職種

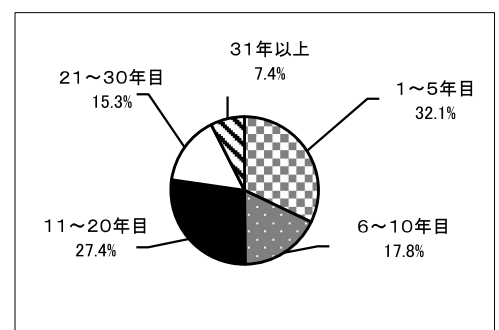
	度数	割合
① 教員	128	27.2%
② 職員	342	72.6%
③ その他	1	0.2%
計	471	100.0%

(その他:教員職員の兼業)



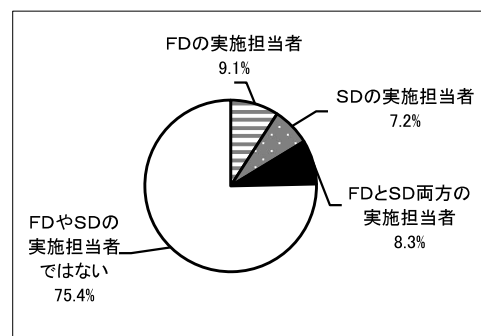
(5) 大学教職員等の経験年数

	度数	割合
① 1～5年目	151	32.1%
② 6～10年目	84	17.8%
③ 11～20年目	129	27.4%
④ 21～30年目	72	15.3%
⑤ 31年以上	35	7.4%
計	471	100.0%



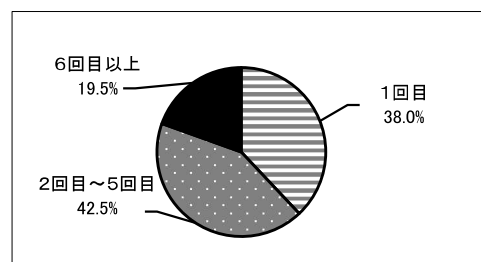
1. あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	43	9.1%
② SDの実施担当者	34	7.2%
③ FDとSD両方の実施担当者	39	8.3%
④ FDやSDの実施担当者ではない	355	75.4%
計	471	100.0%



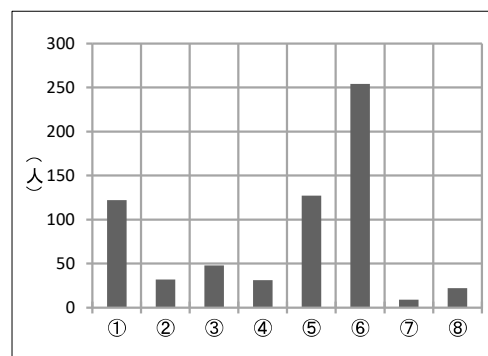
2. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	179	38.0%
② 2回目～5回目	200	42.5%
③ 6回目以上	92	19.5%
計	471	100.0%



3. SPODフォーラムをどこで知りましたか？（複数選択可）

	度数	割合
① SPODホームページ	122	25.9%
② SPODメールマガジン	32	6.8%
③ SPODフォーラムチラシ	48	10.2%
④ SPOD研修プログラムガイド	31	6.6%
⑤ SPOD関係者からの案内	127	27.0%
⑥ 職場の同僚・上司からの案内	254	53.9%
⑦ 知人からの案内	9	1.9%
⑧ その他	22	4.7%
アンケート回答者数	471	

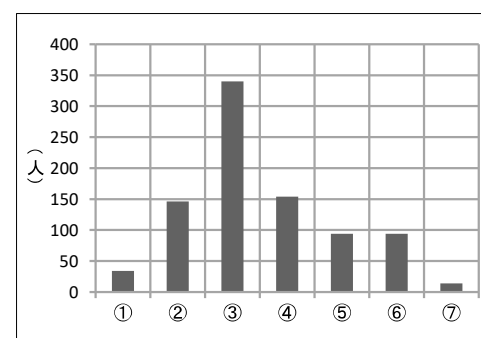


その他の記述回答

・ 職場のメーリングリスト	8
・ 職場からの案内	5
・ Tulipメーリングリスト	3
・ 関係者からの案内	2

4. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？（複数選択可）

	度数	割合
① 過去の参加者に参加をすすめられたため	34	7.2%
② 上司に参加をすすめられたため	146	31.0%
③ 自分自身の能力開発のため	340	72.2%
④ 組織の課題を解決するヒントを得るため	154	32.7%
⑤ 組織を越えた人脈づくりのため	94	20.0%
⑥ FDやSDに関する情報収集のため	94	20.0%
⑦ その他	14	3.0%
アンケート回答者数	471	



その他の記述回答

・ 講師を引き受けたため	5
・ 過去参加したプログラムが充実していたため	2
・ SPOD関係者から案内があったため	1
・ 業務内容に関わるプログラムがあったため	1
・ 職場で参加が義務付けられているため	1
・ 来年度の実施校であるため	1

令和5年9月14日

徳島大学 教職員
SPOD加盟校 教職員 各位

徳島大学FD委員会委員長
齊 藤 隆 仁

令和5年度徳島大学全学FD推進プログラム

「第19回大学教育カンファレンス in 徳島」 研究発表者の募集及び参加について（ご案内）

日頃の教育活動の成果を検証し、教育実践研究を充実・発展させる機会となるよう、SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）加盟校の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認するための大学教育カンファレンスを開催します。また、今年度もSPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）の研修プログラムの一環としても実施します。教職員・学生の皆様の積極的な参加をお待ちしています。（なお、このプログラムでの発表は、徳島大学教員業績評価の際、国内学会での発表と同等の扱いとなっています。）

1. 会期・会場

会期：令和5年12月26日（火）

会場：教養教育4号館、地域創生・国際交流会館 一部、オンライン配信を実施（Zoom）

2. スケジュール（予定） ※研究発表の申込数によって時間帯が変更することがあります。

8:30 ~ 9:00	受付	
9:00 ~ 9:10	挨拶：長宗 秀明 副学長（教育担当）	
9:15 ~ 10:15	研究発表Ⅰ（口頭発表）	（オンライン配信あり）
10:30 ~ 12:00	ワークショップ	（企画者が選択可能）
13:00 ~ 14:00	ポスター発表	（対面限定）
14:15 ~ 15:35	研究発表Ⅱ（口頭発表）	（オンライン配信あり）
15:50 ~	特別講演：「新しい対面授業を考える」	（オンライン配信あり）
（適宜休憩含む）	東京理科大学 教授 渡辺 雄貴 先生	
~ 17:50	ディスカッション（講演に対する質問や授業実践に関する困りごとなど）	
	コメンテーター：渡辺 雄貴 先生 ほか	

3. 特別講演

東京理科大学教育支援機構・教職教育センターの渡辺雄貴先生にご登壇いただき、「新しい対面授業を考える」と題して講演をいただきます。先生は、教育学・授業設計をご専門とし、テクノロジーを組み合わせ、学生にとって最適な学習環境を構築するという観点から、「新しい対面授業」を提案されています。アフターコロナにおいて対面授業が再開される中で、単なる対面授業への回帰を避けるためにも、コロナ禍の経験を活かすことは重要であり、これからの大学教育や授業運営における示唆を得る機会となることが期待できます。

4. 研究発表

（1）研究発表の形式： 研究発表の形式は、口頭発表、ポスター発表があります。また、教育実践のためのワークショップによる発表も受け付けます。

（2）実施方法：

- ① 口頭発表は、発表時間は15分、質疑応答3分です。発表は原則発表会場にて対面で実施しますが、特別な理由がある場合は、オンラインでの発表を可能とします。また、オンライン配信を行います。
- ② ポスター発表は、滞在責任時間は1時間です。発表会場での発表のみとし、オンライン配信は行いません。
- ③ ワークショップは、90分間とし、実施方法やオンライン配信等は企画者が選択可能です。

- (3) 発表要件：発表者は、常勤・非常勤を問わず、高等教育機関の教職員、学生、大学院生及び社会人（ただし社会人については、事前審査等を行う場合があります）とする。
- (4) **発表内容**：教養教育、学部教育、大学院教育、公開講座等の授業に関わるもの、また、職員や学生の能力開発に関わるもので、教育改善・授業改善や、職能開発に関する実践報告にとどまらず、**実践成果の評価の分析、および考察を含む発表であること。**

(5) 研究発表の申し込み

- ①「第19回大学教育カンファレンス in 徳島 発表申込フォーム」に必要事項を記入してお申し込みください（<https://forms.office.com/r/J6kuUMyymA>）。なお、連名発表の場合は、第1発表者の方のみお申し込みください。発表の可否については、記入いただいた連絡先に大学教育カンファレンス in 徳島事務局より連絡いたします。**発表申し込みの〆切は令和5年10月13日（金）です。**
- ②発表内容の**抄録原稿**をA4用紙2枚（45字×45行）にまとめ、**令和5年11月2日（木）までに、PDF形式に変換して提出してください。**（抄録テンプレートについても、同様に、徳島大学全学FD推進プログラムホームページより入手可能）なお、抄録は事前に徳島大学全学FD推進プログラムホームページに掲載します。

5. お問い合わせ・連絡先

【大学教育カンファレンス in 徳島事務局】

大学教育カンファレンス in 徳島事務局

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地 徳島大学学務部教育支援課教育企画係

TEL: 088-656-7686（内線：82（常三島）-7125） FAX: 088-656-7688

E-mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

6. 主 催

徳島大学FD委員会

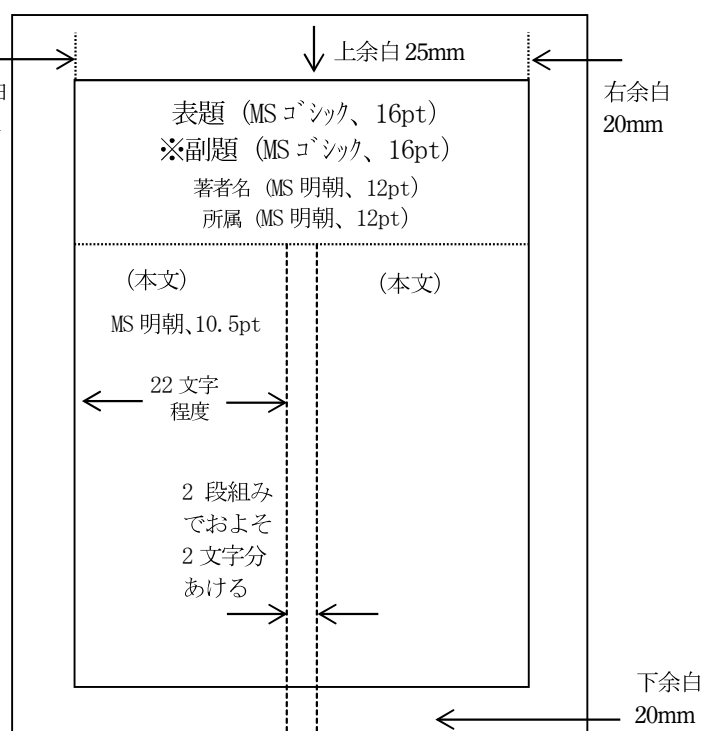
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

※抄録原稿の体裁について

（抄録テンプレートは<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/51025.html> からダウンロードできます。）

- 原稿の1枚目に、表題、著者名、所属を記載する。
- 1頁1, 800文字程度（図表が入る場合はこの限りではない）でA4用紙**2頁**とする。
- 本文の文字は、MS明朝体10.5ポイントを使用する。タイトルは、MSゴシック体16ポイント、章節項等の見出し及びキーワードは、MSゴシック体10.5ポイントを使用する。
- 本文は、原則として2段組とし、章節項等の見出しの上は1行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。
- 原稿は、必ずPDF形式に変換して、大学教育カンファレンス in 徳島事務局までE-mailの添付ファイルで提出する。

抄録レイアウト



大学教育カンファレンスin徳島

参加無料

日時 令和5年12月26日（火）9:00～17:50（予定）

場所 徳島大学 常三島キャンパス 教養教育4号館 他

参加費 無料

申込期限
10月13日（金）

対象者 常勤・非常勤を問わず、SPOD加盟校に関わりのある教職員、学部学生、大学院生及び社会人（ただし社会人については事前審査等を行う場合があります）

発表内容 教養教育、学部専門教育、大学院教育、公開講座等の授業に関わるもの、職員や学生の能力開発に関わるもので、教育改善・授業改善や、職能開発に関する実践報告にとどまらず、実践成果の評価の分析、および考察を含む発表であること
※なお、このプログラムでの発表は、徳島大学教員業績評価の際、国内学会での発表と同等の扱いとなっています。

主要プログラム

8:30 ～ 9:00 受付 ※研究発表の申込数によって時間帯が変更することがあります。
9:00 ～ 9:10 挨拶：長宗秀明 副学長（教育担当）
9:15 ～ 10:15 研究発表Ⅰ（口頭発表）
10:30 ～ 12:00 ワークショップ
13:00 ～ 14:00 ポスター発表
14:15 ～ 15:35 研究発表Ⅱ（口頭発表）
15:50 ～ 17:50 特別講演：「新しい対面授業を考える」
東京理科大学 教授 渡辺雄貴 先生
ディスカッション（講演に対する質問や授業実践に関する困りごとなど）
コメンテーター：渡辺雄貴 先生 ほか

発表申込について

申込期限 令和5年10月13日（金）

- 申込方法**
- 「第19回大学教育カンファレンス in 徳島 発表申込フォーム」に必要事項を記載してお申込みください。（<https://forms.office.com/r/J6kuUMyymA>）
なお、連名発表の場合は、第1発表者の方のみお申し込みください。発表の可否については、記入いただいた連絡先に大学教育カンファレンスin徳島事務局より連絡いたします。
 - 発表内容の抄録原稿は、A4用紙2頁にまとめ、令和5年11月2日（木）までに、PDF形式に変換して、大学教育カンファレンスin徳島事務局宛にE-mailの添付ファイルでお送りください。（抄録テンプレートについても同様に徳島大学全学FD推進プログラムホームページより入手可能）

お問い合わせ

大学教育カンファレンスin徳島事務局宛
〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1 番地
徳島大学学務部教育支援課教育企画係内
TEL: 088-656-7686 （内線：82（常三島）-7125）
FAX: 088-656-7688
E-mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp